

所長	G 長	課 僚

会 議 報 告 書

【報告者 産業部林業振興課 枝窪主人】

起案	令和7年6月6日（金）	部長	次長	課長	補佐	G長	課僚	起案
報告書								
議題 令和7年度サイト座談会		日時：令和7年6月6日（金）16:30～17:00 場所：天竜林業会館2階会議室 参加者：22名（別紙名簿のとおり） 浜松市：小林課長、齋藤補佐、大平主幹、枝窪						
1 概要								
○ 天竜林材業振興協議会の令和7年第1回総会後に、各サイト関係者と座談会を実施。主な意見等は次の通り。 春野／ <u>認証面積の拡大だけでなくPRが重要、認証を活用した木材利用拡大を願う</u> 天竜農林局／ <u>森林認証については、県内随一の取組みを行っている。今の状況が当たり前だと思わない方がよい</u> 天竜森林管理署／ <u>事業体の人員不足等により、立木販売への応札がないことがある</u>								
2 内容（主な意見）								
春野）FSC取得から15年で認証林面積は約50,000haにまで達している。取得面積拡大に留まらず、認証を活用した木材利用拡大を願う。								
引佐）ジャパンホームショーへの出展も良いが、 <u>若い職員を中心に万博視察を行ってもいいのではないか</u> 。協議会の留保もある中、ぜひ検討いただきたい。								
水窪）情報共有だが、GNSS基地局設置の相談があった。半径10kmの範囲が誤差数センチの精度で測量可能となるとのこと。								
佐久間）法改正による森林相続後の手続きについて、周知不足を感じる。広報はままつに掲載等検討いただきたい。								
事務局）広報はままつは紙面制限が大きい。本来制度の周知は制度管理者が行うべきだが、周知する方法はないか検討させていただく。								
龍山）FSC認証林の証明手数料について、サイトごとにばらつきがある。統一したほうが良いのではないか。 →統一の要否・金額については総務部会で検討していく。								
天竜農林局）県内全域の森林認証の取組みを見てきたが、 <u>浜松市より盛んに取り組んでいる地域はない。国有林の参加も当協会のみではないか。</u> <u>自治体が事務局をしているということも類を見ないもの。今の状況を当たり前だと思わない方がよい。</u>								
森林管理署）当地域は材が豊富だが、地形的制約が課題となっている。 <u>また事業体の人員不足等により、立木販売にも応札がないということもある。</u>								
								裏面へ→
天竜）地産外商に向けて、市外での木材需要を補填するような補助金をぜひ検討いた								

裏面へ→

だきたい。

3 備 考

木材活用や生物多様性等、森林の様々な価値が求められる時代が来ていると思料。FSC 認証を核として、企業に対して様々なアプローチを行い森林の価値の最大化を進めていく。また当地域の FSC 認証に関する取組みを評価いただけたことを励みに今後とも取り組んでいきたい。

令和 7 年度サイト座談会の様子

日 時：令和 7 年 6 月 6 日（金）16:30～17:00

場 所：天竜林業会館 2 階会議室

